

第2号様式（第3関係）

平成25年度第3回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成26年3月24日（月）午前10時00分から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室4
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員  
（役職及び氏名） 会長：岡田洋司  
委員：山本達三、野村昌敏、宮沢洋子、岡島千衣子、  
山田久美子、渡辺博史、岡島 剛、谷口富士子  
石黒俊彦、安藤証一、大野容子  
事務局：松田康朗教育長、坪井 悟教育部長、水野典昌課長  
秋田和清係長、安藤 彬主事、加藤秋夫生涯学習指導員
- 4 議題 (1) 平成26年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について  
(2) 平成25年度生涯学習講座受講状況について  
(3) その他
- 5 会議資料 ・豊山町生涯学習実施計画（平成26～28年度） 資料NO.1  
・平成25年度生涯学習学級講座受講状況について 資料NO.2  
・生涯学習情報「生きがいタウン(No.39)」（仮）
- 6 議事内容  
(司 会) 本日は、お忙しい中、定刻前にお集りいただきありがとうございます。  
ただ今から第3回生涯学習推進審議会を開催します。議題に入ります前に、この審議会等の議事録はホームページに掲載することをご承知おきください。  
それでは、最初に会長よりあいさつをいただきます。  
(会 長) いきなり春になり、花粉もいっぱいちょっと困っておりますが、いい陽気になりました。最近学問とは何かという大きなことを考えます。今の学問は良いか悪いかは分かりませんが、お金がかかります。私達文系では何億といったお金はかからないが、理系では何千万とかります。そこで余裕の問題が発生します。そういった学問も必要だと思うが、もう少し素朴な学問の原点である人間のあり方、社会のあり方、そういった事を考える学問はこれからも必要であります。それが無いといろんな発明をしてもそれが人間の幸福に繋がってくるか分からなくなります。

経済学も昔は社会全体を良くしようというものでした。今はほとんどマネーゲームの手段になっています。そういう意味で学問は曲がり角に来ていると感じます。結びつくかは分からないが、生涯学習では現実の利害が関係ないから、本当の人間の生き方、地域のあり方をどこかで勉強するような体制ができればと考えています。個人的な意見になりますが、そういう気持ちでいろいろ考えています。よろしくご審議お願いします。

(司 会) 次に、松田教育長があいさつを申し上げます。

(教育長) 委員の皆様には、年度末でお忙しいなかお集まりいただき、ありがとうございます。

今私共が進めている生涯学習の事業は平成26年3月に策定されました、町づくりの構想計画に基づいて進められております。22年度から始まり4年目が終わろうとしています。順調に行っている部分と、やや手薄になっている部分が確かにあると感じています。私の先輩のある先生が、変わらざるは退歩なりという言葉をよくおっしゃっていました。最近よく思い出すのですが、これは変わらないとダメだという意味ではないと思います。新しい目で現実を見直して、変えるべきところは変えていく、それが前進なんだという意味合いではないかと分かってきました。今日も同じようなタイトルが並んでいますが、やはりこれは必要なものだと思っておりますので、皆様の新鮮な感覚とセンスで26年度に向けて、前向きなご発言をよろしくお願いいたします。

以上申しあげまして挨拶にかえさせていただきます。

(司 会) それでは、資料の確認を行います。

これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは会長にお願いします。

(会 長) 議案(1)「平成26年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について」事務局より説明をお願いします。

～平成26年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について～

資料により説明。

(会 長) ありがとうございます。質問を受ける前に、比較的良く出来ているところと、手薄なところがあると思いますが、事務局としてはどのように把握しておりますか。

(事務局) 基本目標1については充実していると考えておりますが、基本目標2、3については、まだまだ施策を考える必要があると考えております。

(会 長) 特に基本目標3についてはいろいろ議論があったところで、改定するに際しては検討が必要だと思います。

では質問はありますか。

(会 長) 4pの生涯スポーツの振興でトレーニングジム講習会ですが、トレーニングマシンのレンタル期間が終了するというので、どのくらいの利用状況だったのか。

(事務局) 昨年の総務で行われた有識者懇談会で使用料、使用者の少ない物は廃止して行くということで、今年度をもって新栄テニスコートが廃止になりました。利用者が少ないというわけではないが、社会教育センターの履歴を見ても利用者が高齢者に偏っているといったこともあり、リースの終了をもって廃止をしたいと考えております。

(会長) レンタル料はいくらですか。

(事務局) 年160万程度になります。

(会長) 結構な額ですね。

(委員) インストラクターがつかないと言うことですが、新規でやりたい方は気をつけてやるようにということですか。

(事務局) 今利用許可を持っている方は利用できますが、新規の利用は停止となります。

(委員) 合わせて場所についてですが、あまり良い環境ではないと思います。今まで何度か話に上げさせていただきましたが、場所を変更される予定はないですか。

(事務局) ランニングコースの中で、本来の目的の場所ではありません。民間も含めてそういった施設がありますので、そちらを利用していただく事を考えております。

(委員) 台数もそれほど多くないし、本格的にやるには器具が足りず、中途半端でした。ニーズ自体がないわけではなく使いにくいから来ないというふうに感じます。

(委員) 今でも1回200円ですか。

(事務局) そうです。

(委員) 他所ではインストラクターがついて、1月500円というところもあります。そうなるここを利用するということも少なくなるのではないのでしょうか。

(委員) 公共でももっと高い所もあります。ここと同じ様な方式です。

(会長) 現状中途半端な状況で、それを本格的にするのは大変です。将来的には復活する事も考えてほしいです。

(委員) 保健センターの2階にもありますが、そういう物は使えませんか。

(事務局) 基本的には使えない物になります。

(委員) ロコモ対策など、最近は意識的にはとても高いと思います。

(会長) 今の意見も検討していただきたいと思います。

他に質問はございますか。

(委員) 豊山グラウンドの工事の期間はいつからいつまでか。

(事務局) 町民体育大会の終了後、10月末から3月末までを予定しております。

(会長) 改修の内容はどのようなものですか。

(事務局) 利用開始から23年経ちまして、あちこちに錆が浮いてきております。柱も腐食が進んでおり、地震がきたら影響が出ますのでそれをコンクリート柱に取りかえます。10メートルと8メートルのものを等間隔に並

べ、ネットを張ります。値段も以前の工法に比べ安くなっております。ネットも10年は持ちますので、次回の工事も楽になります。またバックネット、掲示版、音響も更新します。外の道路も緑道形式で自転車置き場を含めて整備します。

(委員) 国旗などのポールもスタジアムから見づらいので、もっと高くしてはどうでしょうか。

(事務局) まだ工事の打合せなども始まっておりませんので他の団体も含めて協議していきます。

(会長) 予算もありますが、せっかくの機会ですので少しでも良い物を作っていただきたいと思います。

(委員) 3pのシルバー期の支援の中にロコモ予防教室が新しい事業としてありますが、ロコモ予防はかなり幅広いものを対象にしていると思いますが、具体的にどのような事を考えていますか。

(事務局) 準備不足で具体的な内容までは聞いておりません。

(委員) またシルバー期についてなのですが、私の感じる事としてシルバー期に生きる大事なことは健康、お金、いきがいの3つだと思います。健康、いきがいについては事業がありますが、お金に関する事がないと感じます。特にサラリーマンの方などは年金や老後に向けての資金をどの程度準備すればいいのかといった不安の声が聞こえます。前回も言った通りお金のことについての講座があればいいと思います。

(会長) 前回も指摘していただいたのですが、年金だけではなく、家計全体について早い時期から考えられるような講座があればよいと思います。

(委員) きらり65歳教室というのがあり、福祉課、保健センター、シルバー人材センター、しいの木が4つが話をする機会がありました。20数名の申込があり、16名くらいの参加でした。そういう機会を広く活用して、今年来なかった人も来年もう一度呼ぶといった事をするとうまいと思います。

(会長) 同じようなことは役場の中で調整したり、整理してプランを考えるのがよいと思います。今のお話では60歳以上の方のニーズを引き付けられそうだと思います。

シルバー期を60歳以上と設定するのは皆さん、感覚的にどうでしょうか。

(委員) 今年定年は65歳ですね。

(委員) 老人会は60歳からです。65歳という話もありましたが、前に入った方と後で入る方に差がついてはいけないということでそういうことになっています。

(会長) シルバー期に入ったばかりの60代前半の方と、70代の方では関心が異なってきて、多様になってくると思います。こういう線引きは将来的には後の方に線がひかれるようになるのではないかと思います。

- (委員) 総合型スポーツクラブづくりを文科省が進めていて、愛知県内でも残り4市町村になりました。その中に豊山町も入っていますが、そういったサポートなどはありますか。
- (事務局) 豊山町ではスポ少など様々な行事がありまして、皆さまの理解が得られていなくて出来あがっていません。ですが今30代の方がフットサル中心にして総合型スポーツクラブを作りたいと言うことで、現在規約まで1年かけて作っております。来年には3種目くらいで立ちあげられるかと考えております。まだ未達成ですが、方向的には進んでおります。
- (委員) 総合型クラブで非営利団体を作ると補助金や toto 振興金が受け取れる。組織としてどれほど成熟できるかは分からないが、いろいろな受け皿になれば、そこでいろいろな生きがいを提供できる。財政的に厳しくて畳まないといけない事業も継続できるかもしれません。
- (会長) そういう状況だとやはり整備しないといけないかもしれません。
- (委員) 中には運営面で苦勞しているところもある。早くから活動を始めた隣の西春町では母体となる校区毎の団体があった。また指導員の方が立ち上げに尽力されました。
- (委員) 立ち上げの段階は人の問題が大きいのですが、立ちあがった後の上手くいくかいかないかの決定的な差は施設があるかないかです。自前の施設がない所はなかなか上手くいきません。逆に施設を持っていてそれが魅力的だと大きな事業収入が見込めます。ほとんどの300万以下の事業収入しかないクラブが70%くらいです。そうなると補助金頼りの運営になってしまうとなかなか上手くいかず、会員も増えず、思いきった事業も出来ない。そういう形で負のスパイラルに入ってしまった団体もたくさんあります。なかなか難しいかもしれないが、大きな施設があって、それを指定管理で運営してもらおうと同時に、魅力的なクラブづくりが出来るところは比較的上手くいっています。最近ではJリーグのクラブが積極的にやっています。企業のクラブチームでやっているところもあります。母体があって注目度も高い団体だと比較的短時間で大きくなります。
- (会長) 今の話を一般化すると、豊山町の行政と住民の双方の関係になります。この規模の町だとスケールメリットもありませんし、場合によっては規模も縮小して行きます。多くの行政が同じ悩みを抱えているのではないのでしょうか。そこで部分的に広域行政化できないのでしょうか。数百人規模のホールでやるにはもったいないような企画は隣の自治体と一緒にやって収入を得る、逆に他の自治体の企画に乗っかることはできないのでしょうか。そういう形でやっていかないと、予算の問題などでできなくなることも多くなるのではないかと思います。例えばオーケストラは一度呼んでくると、300万くらいのお金がかかります。この近隣にもいくつか楽団があるのでそういう所と提携すれば企画も作れるだろうし、ミニコンサートで楽団員を招くこともできます。オーケストラは金食い虫で単

独で維持するのは難しいが、地域でサポートするきっかけにできるのではないかと思います。

(会 長) NPOをどう導入して行くかがこれからの大きな課題だと思います。今でも町民の自主性を引き出す方向だが、個々のやる気だけではなく組織として行政の中で働いてもらう、地元だけでなく他にも広げて行政の負担を減らす。そうしないと毎年何人集めたという数字に終始してしまいます。豊山町だけ、一つの部署だけでできる事は限られてくるが、町民のニーズは多様になってきます。そういう意味で広域化は必要だと感じています。事務局の意見はありますか。

(事務局) 参考にさせていただきます。

(委 員) 自主的な学習講座の開設とありますが、サークルやクラブの申し出はありますか。

(事務局) 指導者バンクも含めて申込はあります。講師の紹介以降はこちらで追っておりませんので分かりません。紹介した後、個別でやってもらっているという話は聞いたことがありません。私共の弱い点です。

(委 員) そうですか。それと活動の推進ということで、供用施設を基にしながらサークル等をやりたい高齢者の方に対し、宣伝をする時、供用施設はシルバー人材センターが管理していると聞きましたが、シルバーでは町がこういったことをやっているという事を知っていますか。

(事務局) 知っています。社会教育センターでもサークル募集の場を広げていこうと考えております。営利目的の物は排除する必要がありますので、それもシルバーと確認して進めます。

(会 長) ポスターだけではなく、町のHPなどにも掲載できるといいと思います。

(委 員) 紹介できるといいと思います。社教センターにも掲示の許可を得ました。ただシルバーの方でそういう趣旨を理解されているか気になりましたので質問しました。

(会 長) 周知よろしく願います。今委員の方から出ました、私的な学習講座の開設について、町の方にやりたい講座について申し出はありますか。

(事務局) ありません。サークルの紹介が多いです。

(会 長) 講師を募集して紹介するといったことはないですか。

(事務局) そこまではありません。

(会 長) できれば住民のやりたい事が軸になるのがいいと思いますが、サークル等を作るのは難しいのでしょうか。みなさんどう思いますか。

(委 員) いろんな相談を受けるのですが、病気だったり、人数の減少だったりという事です。それをかいくぐって誰が指導したりするのかという問題が現場では起きています。

(会 長) こういう趣旨でこういったサークルを作りたいという潜在的な欲求はあると思います。

(委 員) あると思います。NPOの話はなるほどと思いました。しっかりした方はどこまでも自分たちでやっていかれます。ここは名芸大も近くにあ

るので音楽に関してはいろいろできると思います。20年前くらいには社教センターのアリーナにオーケストラを読んで第9を演奏しました。当時で250万円くらいしました。いろいろな方がいらっしゃるので背中を押したらいろんなことができると思います。

(会 長) 町の施策として足りない部分があるのか、やりかたに無理があるのか。住民の方の自発性があるってそれを手伝うのがよいと思いますが、そういう話が住民に伝わっていないとするとなんらかの手段を考える必要があります。

(会 長) この件はここで終了します。

(委 員) 先程シルバーが60か65かという話で、60歳以上になればいつでも入れるというのがいいのではないかと思います。またロコモティブシンドロームという言葉にみなさん抵抗はありませんか。

(委 員) あります。

(委 員) クラブでも似たような名称しかでてこない。抵抗感があるようです。

(会 長) ここでも高齢者ではなくシルバーとなっています。

(委 員) 豊寿大学なども盛況ですし、一概には言えないのでは。

(委 員) 総合型スポーツクラブについてですが、事務局も考えてみると言っていたが、会費なども高額になります。事務局も触れなかったが行政側の負担も大きいのではないのでしょうか。その辺りがクリアできればと思います。私も地域を挙げて老若男女が参加できるようにするといいいと思います。

(会 長) 他によろしいでしょうか。議案1について承認していただけますでしょうか。

拍手

(会 長) 次は議題2についてです。事務局お願いします。

(事務局) 説明

(会 長) オープンキャンパスを後半に移したのは大学の事情でして、去年からは岡崎の家政学部の教授を呼んでいたのですが、岡崎の方は時間割が確定するのが遅かったので後半ということにさせていただきました。

(会 長) 郷土の歴史はもう少し人が来てもよいと思います。それからチャレンジ・ザ・ゲームというのは半分くらいですが原因はありますか。少ない物については原因を分析しないと後の企画にも影響があると思います。

(委 員) チャレンジ・ザ・ゲームはどういった広報をされたかによっては、どういものか伝わっていない可能性があります。やってみたら楽しいのですが、どういものか分からないので行こうというモチベーションもわかないと思います。

(委 員) ニュースポーツでも普及している種目もあります。

(会 長) やってみると楽しいということをいかに伝えるかが問題だと思います。

(委 員) ニュースポーツ教室の講師は町のスポーツ推進委員とありますが、どなたがやられますか。

(委 員) 昔の体育指導委員ですよね。今は名称が変わっているのですか。

(事務局) 町が委嘱した委員が6人みえます。みなさん体育協会に所属してみえます。

(会 長) 郷土の歴史は来年度、名古屋城といった有名なところですが、人が増える方に作用するか、行ったこともあるからもういいわとなるか、どうなるか。

(委 員) 参加された方は良かったので、人数が少なくてもったいなかったという事でした。

(会 長) 参加率の良くないものはすぐに外すのではなく、なぜ良くなかったのかを検討する必要があると思います。

(会 長) 他に質問はありますか。

(委 員) 郷土の歴史の現地学習はバスですか、マイカーですか。

(事務局) バスです。

(会 長) そういう事も記載した方がよいと思います。

(会 長) 他に質問はございますか。なければ議題2について承認したいと思います。

拍手

(会 長) 事務局補足ありますか。

(事務局) 補足はありません。

(会 長) その他ありますか。

(事務局) 特にありません。

(会 長) それでは、皆様のご協力により、貴重なご意見をいただき実のある会議になりました。これで、本日の審議を終了します。

お疲れ様でした。

(事務局) 活発なご意見ありがとうございました。

上記のとおり平成25年度第3回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成26年3月31日

会 長 岡 田 洋 司

署名人 宮 沢 洋 子